

道北地域研究所 平成25年度事業報告

名寄市立大学道北地域研究所

はじめに

道北地域研究所は地域に貢献する大学としての研究所の役割を担っており、平成22年度には新たな方向性として「子ども・若者・高齢者にやさしいまちづくり」を加え、「看護・栄養・社会福祉・教育」の分野での連携した研究を支えるとともに、従来から取り組んできた地域産業の振興や食育・観光・ものづくりなどを一体化させた地域ブランドの育成に向けた研究も継承していくことをその活動方針としてきた。

道北地域研究所の活動方針に基づき、地域への貢献可能な「まちづくり」研究推進のために、平成25年度は「道北の地域振興を考える研究会」との共催による地域シンポジウム、本学教員を講師とする市民公開講座等の事業に取り組んだ。以下にその概要を報告する。

1. 諮問会議の開催

研究所の諮問会議は学長が委嘱した道北地域の有識者委員によって構成され、「研究所の事業報告及び事業計画に関し意見を述べ、助言・提言すること」を任務とし、原則として年1回実施されている。平成25年度の諮問会議は7月9日16時30分から、鈴木邦輝氏（名寄市教育部長）を議長に開催され、主に同年度の研究プロジェクトに関する要望と意見が出された。また、本学が申請した「地（知）の拠点整備事業」についても有意義な意見交換が行われた。

2. 研究プロジェクトの推進

平成25年度は本学を取りまく地域に関連する研究プロジェクトを推進することとし、次の研究課題が評議員会によって了承された。なお、本学の教育研究費特別枠支援による研究・事業についても参考資料として掲載した。

〈道北地域研究所による「課題研究」〉

（1）寒冷過疎地域における「幸福度」の検討：定住自立圏における暮らしへの評価の試み

研究代表者 吉中季子（社会福祉学科）

共同研究者 松倉聡史（社会福祉学科）、安藤清一（栄養学科）、廣橋容子・村上正和（看護学科）、古牧徳生・関朋昭・清水池義治（教養教育部）、中西さやか（児童学科）、鈴岡啓一（事務局）

（2）「北・北海道中央圏」定住自立圏における栄養情報データベースの構築

研究代表者 高野良子（栄養学科）

共同研究者 栄養学科教員

〈教育研究費特別枠支援による研究・事業〉参考資料

（1）「第12回平和・人権・歴史を考える若者たちの国際シンポジウム」の開催

テーマ：憲法九条「内」と「外」

研究代表者 三国和子（児童学科）

（2）保健医療福祉連携実践（IPW）における視覚障害者支援のあり方に関する研究

一道内単身視覚障害者の医療受診と支援に関する調査を通して－

研究代表者 小銭寿子（社会福祉学科）

- (3) 子どもの権利条約と教育実践の研究
ー北海道の子ども条例制定と日韓の教育実践・学校文化の比較分析ー
研究代表者 松倉聡史（社会福祉学科）
- (4) 名寄市ならびに近郊で高齢者ケアを実践している看護・介護職員に対する研修事業
研究代表者 岩坂信子（看護学科）
- (5) 名寄市立大学連携教育推進体制整備事業
研究代表者 播本雅津子（看護学科）
- (6) 思春期ピアカウンセラー養成セミナー
研究代表者 加藤千恵子（看護学科）
- (7) 「太極拳を取り入れた運動プログラム」による地域高齢者の心身機能にもたらす変化
研究代表者 段亜梅（看護学科）
- (8) 保育者を対象とした小児一次救命処置の講習事業とその効果に関する研究
研究代表者 村上正和（看護学科）
- (9) 北海道内における触法高齢者・障害者の地域生活定着支援のあり方
ー更生保護施設の福祉的支援に焦点を当ててー
研究代表者 佐藤みゆき（社会福祉学科）
- (10) 生活保護制度における被・要保護者のスティグマに関する考察
研究代表者 松岡是伸（社会福祉学科）
- (11) 大学COC事業に対する教養教育部としての可能性の検討
研究代表者 関朋昭（教養教育部）
- (12) 商店街あそびの広場ー「児童文化」で学生と子ども・地域をつなぐー
今野道裕（児童学科）
- (13) 乳児へのタッチケアが母子に及ぼす効果についての研究ー指尖脈波の非線形解析の手法を用いてー
研究代表者 廣橋容子（看護学科）

3. 研究例会の実施

研究プロジェクトに関連した研究例会を、2月28日に実施した。

- (1) 寒冷過疎地域における「幸福度」の検討：定住自立圏における暮らしへの評価の試み
報告者 吉中季子、清水池義治

4. 市民公開講座の実施

ここ数年は学外の専門家を招聘して市民公開講座を実施してきたが、本年度は本学教員を講師とする市民公開講座を2回開催した。また、市民公開講座の会場は、本学の他に、駅前交流プラザ「よろーな」を利用した。2回の市民公開講座の参加者総数は62名であった。

- | | | |
|-------------|---|-------|
| 第1回（11月15日） | 「少子化時代の男女共同参画」
名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科准教授
参加者数 16名 | 大坂祐二 |
| 第2回（1月28日） | 「TPP交渉の経過と現状ー食の分野を中心にー」
名寄市立大学保健福祉学部教養教育部講師 | 清水池義治 |

参加者数 46名

5. 地域シンポジウムの開催

3月20日（14：00～17：00）、名寄市立大学本館321教室において第18回道北の地域振興を考える講演会（主催 道北の地域振興を考える研究会）を共催した。内容は次のとおりである。

テーマ 「名寄市立大学および道北地域研究所が果たすべき地域貢献とは」

第1講演

「名寄市立大学道北地域研究所に込められた願い」

徳島大学名誉教授 中嶋 信

第2講演

「道北地域と名寄市立大学」

名寄市立大学学長 青木 紀

総合討論

6. 年報「地域と住民」の発行

「地域と住民」第32号を特別号と位置づけ、研究報告や彙報の他に、道北地域研究所の32年間の活動と今後の方向性を整理した（研究報告6編、彙報3編）。

7. 他団体との協力

11月2・3日に実施された子どもセミナー（児童学科主催）を共催した。

11月4日に開催された地域連携研究シンポジウム「早期から地域で支える子育て-求められるシステムとツール-」（瀬戸口裕二教授主催）を共催した。

12月6日、道北の地域振興を考える研究会（会長 神沼公三郎）と名寄市立大学道北地域研究所（所長 安藤清一）は、北海道北部の地域振興に関する研究に係る覚書を締結した。

1月15・16日、北見市コミュニティプラザ「パラボ」で行なわれた「地域を彩る食物語」（北見工業大学・北見市産学官連携推進協議会主催）に安藤清一所長と清水池義治講師（企画委員）が参加し、名寄市におけるヒマワリ栽培と搾油の現状と課題等に関するパネル展示と説明を行なった。

2月24日、駅前交流センター「よろーな」において、「森林・林業を活かした地域づくり勉強会 ノルウェーの成功に学ぶ」（下川町・道北地域研究所・道北の地域振興を考える研究会主催）を開催した。

3月10日、名寄市立総合病院において「上川北部地域看護系進学者のための応援講座」を名寄保健所（看護職員確保に係る企画検討会議）との主催で開催した。

平成25年度 事業日誌

平成25年4月15日	第1回 企画委員会 (H25年度次長選出、事業計画、大学COC事業、その他について)
5月7日	第2回 企画委員会 (課題研究、H25年度事業計画、その他について)
6月12日	第3回 企画委員会 (評議員会、諮問会議、地域シンポジウム、市民公開講座、その他)
7月3日	第1回 評議員会
9日	平成25年度 諮問会議
9月9日	第4回 企画委員会 (市民公開講座、道北地域研究所の再編、その他について)
10月1日	第1回 合同会議 (道北地域研究所・地域交流センター)
24日	第5回 企画委員会 (市民公開講座、地域シンポジウム、その他について)
25日	『地域と住民』第32号投稿申込み開始
11月2・3日	2013年度名寄市立大学短期大学部“こども”セミナー (共催)
4日	地域連携研究シンポジウム 「早期から地域で支える子育て 求められるシステムとツール」(共催)
15日	第1回 市民公開講座「少子化時代の男女共同参画」
26日	第6回 企画委員会 (市民公開講座、研究委託依頼、その他について)
29日	『地域と住民』第32号投稿申込み締切
12月12日	第2回 合同会議 (道北地域研究所・地域交流センター)
平成26年1月	
15～16日	「地域を彩る食物語」(北見市) 安藤所長、清水池委員参加
20日	第3回 合同会議 (道北地域研究所・地域交流センター)
31日	『地域と住民』第32号原稿締切
2月6日	第4回 合同会議 (道北地域研究所・地域交流センター)
24日	森林・林業を活かした地域づくりの勉強会 ノルウェーの成功に学ぶ (主催)
28日	研究例会
3月10日	上川北部地域看護系進学者のための応援講座 (主催)
20日	第18回 道北の地域振興を考える講演会 (共催)
31日	年報『地域と住民』第32号発行
	*その他 年報第32号編集作業

＜道北地域研究所の構成(平成25年度)＞

1 組織体制

所 長	安 藤 清 一
次 長	中 島 常 安
企 画 委 員	清水池 義 治
	高 野 良 子
	高 橋 美 和
	黄 京 性
事 務 員	刀 禰 聡 美

2 研究員・評議員

[氏名は50音順]

氏 名	研究分野・領域	地域に関わる研究・活動	備 考
阿 部 準 子	精神看護学	精神障害者・統合失調症・精神科救急・退院	
安 藤 清 一	食品生化学	地域資源・有効利用・ヒマワリ油	研究所長 研究員
石 川 貴 彦	教育工学・情報科学	情報処理・パソコン教育	
市 川 晶 子	給食経営管理論		研究員
市 川 きみえ	母性看護学	母児の愛着形成・出産体験・神道の生命観	
市 川 正 人	小児看護学	乳幼児突然死症候群・育児支援・愛着形成	
糸 田 尚 史	臨床児童心理学	子どもの心理検査・発達相談・就学指導・特別支援教育相談・療育コンサルテーション	
岩 坂 信 子	老年看護学	看護・介護問題・高齢者・生活の質	
梅 澤 敦 子	栄養教育		研究員
大 坂 祐 二	社会教育論・福祉教育論	青年期教育・若者の地域活動・男女共同参画 YOSAKOI ソーラン・手をつなぐ育成会	
大 見 広 規	健康科学	胸骨圧迫とAEDによる心肺蘇生法普及事業	研究員
忍 正 人	地域福祉		
小野寺 理 佳	家族社会学・教育社会学		
加 藤 隆	教育学・道德教育	教育学・初等教育・デスエジュケーション・学校種間の連携	
加 藤 千恵子	母性看護学	タッチケア・ピアエデュケーション・健康教育・妊婦のマイナートラブル	
木 津 由美子	基礎看護学・老年看護学	高齢者・せん妄・看護技術・看護教育	
工 藤 慶 太	食品機能学	地域未利用資源の有効利用に関する研究	研究員
久保田 のぞみ	応用栄養学・栄養教育	地域における栄養管理・栄養士業務	研究員
小古間 甚 一	アメリカ文学	文学・英語・英検名寄地区実施委員	
小 銭 寿 子	ソーシャルワーク論・地域精神・保健福祉・医療福祉	視覚障害者の医療受診に関する研究・養育者支援に関する調査研究	
小 林 宏	臨床心理学・不登校の研究	名寄高・天塩高・士別翔雲高等のスクールカウンセラー	
今 野 道 裕	児童文化	人形劇・世代間交流・おもちゃ・絵本	
佐々木 俊 子	小児看護学	障がい児・母親・愛着形成	
佐 藤 郁 恵	成人看護学・基礎看護学	緩和ケア・看護倫理・看護過程・看護学教育	
佐 藤 みゆき	民法・社会保障法・司法福祉	名寄市総合計画・地域福祉計画・地域福祉実践計画への参画	
清水池 義 治	農業市場学・食品産業論	農作業体験・地域ブランド・天塩川・ネットワーク組織	企画委員 研究員
清 野 茂	障害者教育学	知的障害者の地域生活移行・知的障害者の芸術活動	
関 朋 昭	スポーツ経営学・教育学	経営学・教育学・スポーツ・村上春樹	研究員
瀬戸口 裕 二	障害科学・認知心理学	特別支援教育体制整備・学校コンサルテーション・就労支援	
高 野 良 子	臨床栄養管理	地域における医療・福祉連携（栄養）	企画委員 研究員
高 橋 美 和	基礎看護学	看護学生・看護師・職業的アイデンティティ	企画委員
武 田 かおり	成人看護学	看護教育・患者意思決定・看護過程	
田 中 利 宗	ソーシャルワーク論	名寄の歴史文献収集	
田 邊 宏 基	栄養化学・食物繊維	食品の生理機能の探索	研究員
段 亜 梅	老年看護学	高齢者の転倒予防・高齢者の健康課題（骨密度・体組成）	

氏 名	研究分野・領域	地域に関わる研究・活動	備 考
千 葉 昌 樹	公衆栄養学・連携教育	危機管理・災害時の栄養・健康づくり	研究員
寺 山 和 幸	健康科学	名寄市民のQOL実態調査	
傳 馬 淳一郎	子ども家庭福祉・保育学	保育者養成・子育て支援・多世代交流	
中 島 常 安	保育学・発達心理学	集団保育・平和教育等保育の質の向上	企画委員
長 嶋 泰 生	栄養疫学		研究員
中 西 さやか	保育学・幼児教育学		研究員
西 村 直 道	栄養化学	地域産物の生理機能解明とそれを生かした食品素材開発	研究員
長谷川 武 史	地域福祉・高齢者福祉		
長谷川 博 亮	精神看護学	自殺予防対策・メンタルヘルス・ゲートキーパー講習	
長谷部 幸 子	栄養教育	栄養教育・食育・子育て支援	研究員
長谷部 佳 子	成人看護学	がん・脳血管疾患・QOL・看護技術・看護教育	
鉢 呂 美 幸	地域看護学	職業性ストレス・職務満足感・ポジティブヘルスケア	
播 本 雅津子	地域看護学	保健師活動・保健師教育・看護職員確保対策	
廣 橋 容 子	在宅看護学	ケアマネジメント・地域高齢者のQOL向上・ケアに従事する職員の健康・指尖脈波研究	研究員
黄 京 性	高齢者福祉	過疎寒冷地一人暮らし高齢者のQOL向上	企画委員
古 都 丞 美	調理学・給食経営管理論		研究員
古 牧 徳 生	哲学	生命倫理・進化論	研究員
松 岡 是 伸	公的扶助分野		
松 倉 聡 史	法学	「子どもの権利条約」を学校・地域に生かす	研究員
マーティン ト・ウス	応用言語学	英語	
三 国 和 子	音楽科教育学・保育音楽	幼児の音楽活動・音楽科の授業構成・異文化理解・合唱	
水 野 芳 子	地域看護学	行政保健師・ソーシャルキャピタル・保健行動	
三 井 登	体育史・教育史・体育方法・子育て支援	自然と身体・身体づくり・食育・子育て支援	
南 山 祥 子	成人看護学	肩こり・温罨法・湿熱・乾熱刺激	
宮 内 俊 一	社会福祉・児童学科	社会的養護・児童虐待・社会的情緒的学習	
村 上 正 和	成人看護学	急性期看護・BLS教育・eラーニング	研究員
村 本 徹	農村・施設計画		
山 本 里 美	老年看護学・基礎看護学	高齢者・心身相関・死生観・QOL	
山 本 達 朗	神経解剖学・神経発生学		研究員
結 城 佳 子	精神看護学・精神保健福祉	自閉症スペクトラム・教育的支援・統合失調症・生涯発達・統合性	
雪 野 繼 代	食品化学・微生物学	脂質分析	
吉 中 季 子	社会保障・公的扶助	地域における貧困問題の析出と支援	研究員

3 諮問会議委員 [氏名は50音順、敬称略]

氏 名	所 属
和 泉 裕 一	名寄市立総合病院院長
岩 城 美 幸	名寄市立総合病院看護部長
梅 野 新	名寄青年会議所理事長
岡 本 守	北星信用金庫理事長
久 保 和 幸	名寄市副市長
黒 井 徹	名寄市議会議長
駒 井 英 洋	下川町総務課長
今 尚 文	名寄商工会議所専務理事
佐 藤 靖	北都新聞社社長、名寄消費者協会会長
鈴木 邦 輝	名寄市教育部長
鈴木 久 典	土別市総務部長
高 橋 光 男	名寄市経済部長
田 邊 孝 次	北海道名寄産業高等学校校長
中 島 道 昭	道北なよろ農業協同組合組合長
中 野 秀 敏	北海道議会議員
西 守	名寄市社会福祉協議会常務理事
吉 田 肇	上川北部医師会会長
渡 辺 英 行	美深町総務課長